

第 256 回岩手朝日テレビ
放送番組審議会（書面による審議）

新型コロナウイルスオミクロンの感染拡大に伴い、感染防止を鑑みて
3月30日に予定していた第256回の放送番組審議会についてはレポートの
提出により審議を行います。

1. 開催年月日 2022年3月30日（水）当初の日程
4月8日までに、委員全員から課題番組に対するレポートを提出いただき
4月15日までにレポートに関する質問や意見に対して担当ディレクターが
回答をまとめ、他資料と合わせて送付。
その後、委員からの意見を集約し議事録を作成。

2. 委員の出欠（レポートの提出）

委員総数 8名

出席委員数 7名

委員長	小松 豊
副委員長	そのだ つくし
委員	石川 健正
委員	高橋 惣兵衛
委員	和田 俊文
委員	樋口 知志
委員	佐竹 雅之

欠席委員数 1名

委員	舟橋 宏太
----	-------

会社側出席者名

代表取締役社長	畠山 大
取締役	三浦 茂樹
常務取締役報道局長	小原 洋
事務局長	
プロデューサー	吉田 幸弘
事務局	波岡 功

3. 議 題

(1) 社長あいさつ

(2) 4月単発・2月視聴率・2月視聴者応答記録について

(3) 合評について

合評課題：Jチャンネルいわてスペシャル 3.11 明日への備え

放送時間：令和4年3月11日（金）午後3:50～4:55

(4) 次回開催について

日 時：令和4年4月27日（水）会議室 11:00～

合評課題：テレメンタリー2022

「3.11を忘れない88 どうする、大槌」

放送日時：令和4年3月15日（火）深夜1:50～

令和4年3月18日（金）午後1:54～（再）

4. 概 要

東日本大震災で住民の8%が犠牲になった岩手県大槌町。ある”空き地”をめぐる町が揺れている。かつて町役場があり、多くの職員が津波の犠牲になった場所をどう使うのか？伝承か、慰霊か。選択の行方を見つめる。

- ・今回は「これから」にスポットを当て、「本当のところはどうか」というところに切り込んでいた部分は評価したい
- ・防災の意味や防災に対する意識・姿勢はどうあるべきといったことを視聴者に考えさせるという視点で制作されていたという印象
- ・南海トラフや日本海溝・千島海溝などの巨大地震も想定されるなか、津波からの避難や災害への備えについて、考える機会となった
- ・コメンテータの朝日新聞の石橋さんが折りに触れてコメントされていましたが、的確で効果的であった
- ・浅野さんのエピソードの方はやや掘り下げ方が浅く、教育実践の具体的な内容が分かりにくかったことはやや残念